

6日目 4月30日

会 場: 県立浜山球場

第1試合		～準々決勝～																
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
浜 田	0	0	1	0	1	0	2	0	0							4	11	3
島根中央	3	0	1	0	0	0	0	1	X							5	12	0
(投手-捕手)																		
・ (浜)	濱見→近堂 - 田村																	
・ (島)	向井→梶 - 佐々木																	
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (浜)	伊藤																	
・ (島)	李						田原											
(審判) [球審] 本田		[一塁] 藤原周					[二塁] 森島					[三塁] 嘉藤						
(チーム成績)																		
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨
(浜)	41	11	4	1	0	0	1	4	1	3		0		3	0	0	0	0
(島)	41	12	2	1	1	0	6	4	2	2		2		1	1	0	1	0

### 「島根中央、秋の王者撃破！」

島根中央が随所に好守を見せ、秋の王者浜田から大金星を挙げた一戦となった。浜田は1回表、安打と捕逸でいきなり、無死2塁の好機を得たが、内野ゴロで2塁走者が3塁を狙うもタッチアウトとなる。その後も2死2・3塁と好機を作り直すも得点できない。すると島根中央は1回裏、連打と犠打で1死2・3塁とし、4番米田の打球を三塁手が弾く間に2者が生還すると、続く5番田原がライト線を破る適時3塁打で、この回3点を奪い主導権を握る。

浜田も3回表に安打と四球で1死1・2塁とし、3番小前の三遊間を破る適時打で1点を返す。しかし、直後の3回裏に2死3塁から三塁手が打球を弾き、すぐさま島根中央が1点を奪い返す。

浜田は、5回表に2死3塁から4番波田の内野安打の間に1点を返すと、4回裏から継投した近堂が、4回に2死1・3塁、5回に2死3塁とピンチを防ぐ。6回裏にも、無死1・3塁と大きなピンチを迎えたが、スクイズ失敗と併殺で切り抜ける。すると、7回表に連打と暴投で1死2・3塁と一打同点の場面を作り、5番石田がライトへの適時打を放ち同点に追いつく。

島根中央は7回裏に2死満塁とするが、あと1本を浜田2番手近堂が許さない。しかし、8回裏に安打と四球で1死満塁とし、4番米田が押し出し四球を選び、これが決勝点となった。近堂も粘り強く次の打者を併殺に打ち取りピンチを切り抜けたが、8回から継投した島根中央2番手の梶の丁寧なコースに投げる球に苦しみ同点の場面を作ることができなかった。島根中央は何度も浜田の強打でピンチを招いたが要所要所で好捕が飛び出した。

